

活動テーマ

人と人、人と自然のつながりを学び、

主体的に環境に関わろうとする東っ子

身近な自然環境である葉山川での環境学習を基点に、地域の自然や人を愛し、みんなが幸せに生活するために、環境に配慮した暮らしや行動の仕方について考え、主体的に環境に関わろうとする子どもの育成をめざす。

1 学校の概要

本校は、京阪神のベッドタウンとして人口が急増している草津市に位置する。

平成17年度よりエコ・スクールの実践校の指定を受け、校区に流れる葉山川を中心とした環境学習を重ねてきた。平成19年には淡海こどもエコクラブ大賞を受賞し、近年はFBC（フラワーブラボーコンクール）にも毎年参加し、自然や生き物とのふれあいを体験する学習を積み重ねてきた。また、平成24年度から3年間「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、環境学習に重点を置き、地域の方々と共に取り組んだ。また、平成25年には環境省より環境保全功労者表彰を受けた。現在も「葉山川学習」（環境の学習）を継続して行っており、環境問題への関心は高い。

2 「エコ・スクール笠縫東」の取組

（1）環境への関心と地域への愛着

社会では、地球温暖化、水質汚濁など、様々な環境問題がメディアに取り上げられている。

それらの問題は何か一つを変えれば解決するような問題ではなく、様々な立場の人と協力しながら少しずつ解決していかねばならない問題である。一人ひとりが自分勝手な考えを改め、相手の立場に立って行動したり、将来を見据えて行動したりする事が大切である。

本校が進める環境学習のねらいは、人と人、人

と自然のつながりを学び、学ぶ楽しさを知る中で、

環境への関心や地域への愛着を深め、身近な環境に対して主体的に関わろうとする力や態度を育むことにある。

（2）エコ・スクールは、地域とのつながりによって支えられている

本校の「環境学習」は「自然環境」という意味だけでなく、「地域・人」も含め、「自然・地域・人」を広い意味での「環境」ととらえている。

一年間を通して、地域の方々にお世話になりながら地域の川である「葉山川」を基点に、1年生～6年生が、生活科・総合的な学習の時間を中心に環境学習（葉山川学習）に取り組んでいる。大人も子どもも楽しく集いながら環境学習を進めており、この学びの過程において、子どもたちと地域の人々との「つながり」を特に重要視している。

また、地域には、子どもの学習をサポートする地域の力「地域協働合校推進協議会」があり、特に、エコスクールについては「エコスクール支援委員会」を年2回開き、学校と地域とが連携して学習を進めるだけでなく、地域の取り組み内容や、昔の地域の様子などたくさんのお話を教えていただいている。このように学校と地域との二人三脚により、本校の環境学習は進められている。

(3) 6年間を通した取組

1年生では、生活科「あきとなかよし」の学習で、葉山川周辺に秋の草花さがしに出かけた。また、地域の方の協力を得ながら、草花や木の実を使ってどんな遊びができるかを学び、草花を飾って帽子を作ったり、木の実を使って、こまやけん玉などのおもちゃを作ったりして、一緒に遊んだ。自然の物を活かして、いろいろな遊びができることを知り、東っ子博物館で発表した。秋を楽しむ活動を通して、自然に親しむことができた。

2年生では、生活科の学習で夏野菜(ミニトマト・ししとう・ピーマン・ナス)を育て観察する体験を通して、それぞれの野菜の葉や花、実の特徴を捉えることができた。実際に収穫する経験を通して、育てる大変さとともに喜びを感じることができた。また、葉山川や学校周辺に生息している生き物を探し、身近な生き物(バッタやダンゴムシ)について、その生態や生息場所などを調べる学習を行った。調べたことは、「生き物クイズ」として東っ子博物館で発表した。これらの学習を通して植物や動物に興味を持って関わることができた。



1年生：「秋遊びをしよう」



2年生：葉山川で生き物を探そう

3年生では、総合的な学習で「草津あおばな会事務局」からいただいたあおばなの苗を育て、花を摘んだり、種をとったりする活動をした。また、「草津あおばな会」の方に来ていただき、あおばなの栽培についての話を聞いたり、青花紙での色塗り体験をしたりするなどした。他にも、自分たちで、あおばなの歴史やあおばなが使われている食品などについて調べいき、あおばなへの愛着を深めた。そして、「より多くの人に草津市の花である『あおばな』の魅力を伝えたい。」と「東っ子博物館」で発表することができた。



3年生：青花紙の絵付け体験

4年生では、昔の葉山川の絵と今の葉山川の航空写真を見比べて、今の葉山川とのちがいを話し合い、「なぜ川の形が変わっているか。」という子どもたちの疑問から、葉山川を探検することにした。旧葉山川のなごりを見つけに出かけ、地域の方のお話を聞いたりすることを通して、今の葉山川があるのは昔の人々の努力による物であることを学んだ。森林環境学習『やまのこ』では、森林破壊により川が氾濫してしまうことについて学び、環境問題を解決していくために、自分たちにできることを考え、努力や行動をしていくことが大切であると気づくことができた。



4年生：昔の葉山川たんけん

5年生では、3学期のフローティングスクールにむけ琵琶湖についてより詳しくなることをテーマに、学習に取り組んできた。1学期には、田植えの体験から米について学んだ。田んぼと琵琶湖とのつながり、その起源はなど、自分が決めたテーマに沿って学習を進めた。今後の自分の生き方やびわ湖との関わりについて考えを深めることができた。

2学期には、地域の方々に協力していただき、葉山川の生き物調査を行った。学校の目の前に流れている川にも様々な種類の生き物や外来種が生息していることを知り、自分たちには何ができるのかを考えるきっかけとなった。



5年：葉山川生き物調査

6年生では、世界の環境問題着目し、SDGsの観点をふまえて環境学習を進めていった。世界には、どのような問題があるのかといった現状について学び、また身近な問題としてより深く考えていけるよう、これまでの学習と関連付けながら地域の環境問題についても取り上げた。これまでお世話になった地域の方々に来ていただき、葉山川の環境についての話を聞いた。その後、環境を守っていくためにはどうすればよいか、解決策を一人ひとりが考え、東っ子博物館で友だちや家族、地域の方に発信することができた。



6年生：地域の方を招いての学習

(4) 委員会活動での取組

本校には「エコロジー委員会」があり、委員会活動においても環境活動を進めている。1学期は、地球温暖化を防ぐためにどのような取り組みができるかを考え、グリーンカーテンを作るために、ゴーヤを植え、栽培も行った。また東っ子池の生き物調査では、どのような生き物が生息しているかを調べ、分かったことをポスターにまとめた。ポスターを各クラスに掲示してもらい、たくさんの人に東っ子池の良さを知ってもらおうと呼びかけた。

2学期には、「みんなが気持ちよく過ごせる環境をつくるためにはどうすればいいか」について話し合い、学校内の清掃活動を行うことにした。普段掃除できない部分を、じっくり時間をかけて掃除することができた。

3学期は、葉山川の清掃を行った。ペットボトルや缶、ビニール袋など、生活する中で出てくるゴミがたくさん見つかった。清掃後は、どうすればこれらのゴミが減るかを考えた。

5 おわりに

葉山川学習で出会った地域の人々とのつながりを通して、子どもたちは葉山川周辺の自然だけでなく、人との関わり方など身近な環境から大切にしていくことの重要性を学んでいる。地域の自然をテーマにした環境学習は、持続可能な地域づくりであり、町づくりである。子どもたちがそこから学ぶ楽しさを知り、地域の人と楽しく集う関係を作るとともに、自分の住む町に愛着や誇りを持ち、自ら主体的に環境や周りの人々に働きかけていく力を身に付けていくことこそがその第一歩である。今日まで築いてきた地域の方々とのつながりを今後も大切にし、自分から地域の環境に働きかけていける子どもを育てていきたい。

学校名： 草津市立笠縫東小学校

住所： 草津市平井3丁目8-1

電話番号： 077-564-4391

E-mail: info@kasanuihigashi-p.sk.ed.jp